



沖縄県辺野古の普天間飛行場代替施設事業を巡り、
連日のようにニュースが報道されています。
報道のとおり、この事業には多くの問題があります。

しかし、まだまだ知られていないのが、
辺野古を埋め立てることによる
自然破壊の大きさ、深刻さです。

辺野古・大浦湾とは、いったいどんな場所なのか。
文化人類学者、地理学者、生物学者、ジャーナリストが
この海を、それぞれの観点からご紹介します。

なぜ、辺野古の海を埋め立てることが問題なのか。
この海域を 10 年以上調査をしてきた日本自然保護協会が、
自然保護にフォーカスして、
この計画がもたらす意味をみなさんと一緒に考えます。

■基調講演

「誰がジュゴンを語るのか〜ジュゴンと
人との関わり」吉川秀樹／沖縄・生物多様
性市民ネットワーク

「沿岸地域自然環境の保護における場の
多様性の意義〜沖縄島・辺野古大浦湾を例
に〜」中井達郎／国土館大学ほか

「市民参加調査から見えてきた辺野古・大
浦湾の自然環境の重要性」吉田正人／
IUCN-J 会長、筑波大学大学院

「世界に誇る辺野古・大浦湾のサンゴ礁の
海」安部真理子／日本自然保護協会

■パネルディスカッション

コーディネイター：吉田正人
吉川秀樹、中井達郎、安部真理子、
まさのあつこ（ジャーナリスト）

日本自然保護協会主催

辺野古の海の生物多様性を伝えるシンポジウム

2015 年 9 月 13 日(日)13:30~17:00

法政大学市ヶ谷キャンパス(外濠校舎 306 号室)／資料代 500 円

最寄り駅：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分



NACS-J

主催：公益財団法人 日本自然保護協会(NACS-J) 後援：法政大学文学部地理学科

問合・申込先：日本自然保護協会 tel. 03-3553-4103 umi@nacsj.or.jp

当日受付もいたしますが、資料・会場準備のため事前申し込みにご協力ください。

*この活動は、公益財団法人自然保護助成金・第25期(2014年度) プロ・ナトゥーラ・ファンド助成によって実施します。